

## 週刊 リスクマネー経済新聞

## リスクマネジメント愛媛

## 先週の振り返り

## ◆ 先週の株式&amp;為替相場（前週末比）

日経平均：26,235円（-1,292円）/ドル円：132.82円/NY株式：33,203.93ドル（+283ドル）

## ◆ 先週の日経平均株価は大幅続落となりました。日銀が12月の金融政策決定会合で長期金利の許容変動幅を±0.5%程度まで拡大すると発表し、これが実質的な利上げと受け止められたことで円高と株安が進行しました。21日までは5営業日連続で3桁下落しており割安感が高まっています。

⇒月曜26日の米国はクリスマス休場、その後も長期休暇に入る欧米投資家が多い為閑散ムードが強く上げづらく下げやすい相場が続きそうです。為替については8月以来の水準まで円高・ドル安が進んでおり、仕入れコストが抑えられることから小売企業の株が買われています。

【資金の流れ】 ハイテク株 ⇒ 円高恩恵株      米ドル ⇒ 円

## 注目トピック

## ◆ 来年のマーケットを左右する注目テーマとは！？ …注目イベントのまとめ

2022年も残り僅かとなりました。今年はロシアのウクライナ侵攻で加速したインフレとそれに対応する利上げで波乱の相場環境となりました。来年はどんな年になるのか、注目されるイベントをまとめました。

## 【来年の注目イベント…】

2023年の主なイベントとしては、**3月**ワールドベースボールクラシック（WBC）、**4月**新日銀総裁就任及び全国電力料金の値上げ、**6月**2030年冬季五輪開催地決定（札幌が立候補中）、**9月**ラグビーW杯、**11月**国連気候変動枠組条約会議（COP28）などが予定されています。スポーツ関連のイベントも多い印象ですが、今年のサッカーW杯が想定を超えて盛り上がり、関連銘柄も大きく動いたことから注目が高まっています。

## 【まだまだ上がる電気代…】

ロシアのウクライナ侵攻や円安進行による原材料価格高騰から電力会社の決算は軒並み赤字となっています。**今年3割ほど上がった電気代**ですが、来年4月に向け電力各社は**さらに3割程度の値上げ**を申請しておりそれに併せて様々な製品・サービスの値上げが続く見通しです。経営や生活のコスト増が続く中で、新日銀総裁による金融政策の舵取りが極めて重要となってきます。黒田総裁の金融緩和路線を継続するのか、どこかで金融引締めを踏み切るのか、**金融政策を巡って乱高下する相場環境**にもなりそうです。またCOP28にも注目が高まっており、株式投資を考える上でも**SDGs銘柄の選別がより一層強まる年**となりそうです。

## 今週の話題

## ◆ 富裕層に影響大、税制改正による節税封じ強化

## 【解説】

来年度の税制改正で**富裕層の節税策に包囲網**が強まります。生前贈与が相続財産に加算される対象期間が長くなるほか、不動産の時価と相続税評価額の差を利用した節税も難しくなります。相続対策の見直しが必要です。

## 【ポイント】

一方で**教育資金の一括贈与非課税制度**（1人につき1500万円）は26年3月末まで延長される事が決まりました。**結婚・子育て資金の贈与非課税制度**（1人につき1000万円）も延長されますが、将来は廃止される見込みです。

## 【今後の影響】

**防衛費増加**などに伴う今後の増税の流れのなかで、法人と並び**富裕層に負担増**を求める流れは続きそうです。金融所得に対する税率20%も富裕層については将来引き上げられることが検討されており注視が必要です。